

会 議 名	第 9 回新城地域協議会		公 開
日 時	令和 6 年 9 月 1 2 日（木） 午後 7 時 0 0 分～午後 8 時 4 0 分	場 所	市役所本庁舎 4 階会議室
出 席 者	（委員） 権田康之、西尾泰昭、矢賀美紀代、坂巻克彦、坂部岳、清水利高、 今泉澄夫、佐本達俊、丸山哲也、中川享子、高木猛至、今泉克英、 松井利文、小栗健次、鈴木雅晴、白柳明美、安形元成、今泉光俊、 福本克司、大瀧章義、沼田宣、今泉栄、畠山恵美子		
	（事務局） 市民自治推進課：杉本参事 新城自治振興事務所：今泉所長、藤本主事		
欠 席 者	なし	傍 聴 者	なし
配布資料	・次第 ・資料 1 令和 7 年度 新城地域自治区予算事業計画（案） ・資料 2 しんしろ地域計画の推進体制について（提案） ・資料 3 新城地域自治区地域協議会に関する運営要綱 ・資料 4 新城市地域活動交付金交付要綱（抜粋） ・資料 5 新城市地域活動交付金交付要領（抜粋） ・資料 6 新城地域自治区 地域活動交付金審査基準 ・資料 7 令和 6 年度新城地域自治区地域活動交付金募集要項 ・資料 8 令和 7 年度新城地域自治区地域活動交付金募集チラシ案 ・資料 9 令和 6 年度への引継ぎ事項について（抜粋） ・資料 10 新城地域協議会だより第 5 3 号 ・資料 11 しんしろまちなかサロンチラシ		

議題・議事・発言等（要点記録）

1 開会 委員 2 3 名中 2 3 名の出席により会議成立の報告、及び会議録署名委員の指名 （今泉克英委員、松井利文委員） 2 報告 （1）令和 7 年度新城地域自治区予算事業計画（案）修正点について 子育て茶話会事業、防災専門部会運営事業について第 8 回地域協議会で内容の修正があったことから、積算を修正して報告がされた。 3 議事 （1）地域協議会運営体制について 運営体制について見直す点があるか検討をした。 検討するにあたり、まず地域計画体制検討会からの提案や新城地域協議会運営要綱について振り返りをした。 （地域計画推進体制検討会委員からの補足） ○推進体制検討会では、地域計画を進める事業等の計画・実施を地域協議会だけで進めてよいのかというのが主な議論だった。 ○地域計画を具体的に進める案を作る作業を、地域計画推進会議（仮称）（以下、推進会議）を立ち上げてお願いしようというのが結論であった。

- ただ、市も推進会議へ丸投げでなく、サポート体制を充実させることも重要ということも提案に含んでいる。
- 市では推進会議の立ち上げへ向けて、内容等の検討中だと聞いている。
- 具体的な人選までは至っていないが、これまでカテゴリーに沿った活動を経験してきたような人（個人・団体）を想定している。
- 地域協議会委員は2年任期で入れ替わるが、推進会議は地域計画と中長期的に関わっていただける方がよいという意見もあった。

（委員意見等、⇒事務局回答）

- 地域協議会で把握ができていない団体について、地域計画推進のためにわざわざ掘り起こすのはやり過ぎではないかと感じる。埋もれているのには埋もれている理由がある。
- 推進会議に集まってくれるだろう団体や個人の当てはあるのか。
地域活動交付金に申請されるような団体も可能性があるのか。
- ⇒地域計画の5つのカテゴリーそれぞれで、連絡協議会のようなまとまりのある団体が立ち上がってくれるといいですね、という話がされた。そんな団体が地域計画を見ながら（関わりながら）検討していくのが推進会議である。
- 地区関係なく選出された女性議会委員や若者議会委員は、これまでそれぞれの目線で市のことを考えてきたと思う。議会ごとに縦で割ってしまうのではなく、そういった方にもっと小さな枠組みで、新城を考えて進めていくのは良いと思う。
- 新城地域自治区ではスポーツ活動の団体が解散し、住民の活動母体がない。活動団体の立ち上げ支援について、構成員の時間や気苦労の負担もあり、団体を維持することは難しいことである。
- 推進会議では、ぜひ空き家・空き店舗の活用、シャッター街の活用も検討できるとよい。

（2）令和7年度地域活動交付金募集要項の検討

募集要項、審査基準等について見直す点があるか検討をした。

（委員意見等、⇒事務局回答）

- 必ずしもプレゼン（事業内容説明）の場を設けなくてよい認識でよいのか。
- ⇒今の募集要項では、説明（プレゼン）は省略可だが質疑応答は公開の場である必要がある。これは新城地域協議会の取り決めである。
- プレゼンについて、例年同じような団体が同じような活動をする人が多いため、やらなくてもよいと思う。
- 新任の協議委員には内容が分からないと思う。プレゼンをすることで団体側の整理にもなるし、慣れればそこまで大変ではないと思う。
- 交付金を受ける以上、書類だけの審査というのは引かかる部分がある。
- 地域活動交付金におけるスタートアップの性質とは、どういう捉えか。
- （別の委員から一つ上の質問に回答）地域活動交付金とは初めて実施されるものを主体で考え、何度も申請される事業は市の予算（事業）として扱うべきだと考える。
- 採点票について、3点（中間点）以上の4・5点は期待をしているということで団体に伝わると思うので、1・2点の採点には意見を書いてもらうようにした方がよいと思う。

3 その他

（1）第10回新城地域協議会日程確認

10月10日（木）午後7時00分から 市役所4階会議室

（2）第11回新城地域協議会日程確認

10月24日（木）午後7時00分から 市役所4階会議室

（3）市長との意見交換会テーマについて報告

第8回地域協議会での意見から、以下の内容で担当部局に回答したことを報告した。

意見交換会テーマ：新城地域自治区全体のことについて

市の政策等聞いてみたいこと：コンパクトシティの進め方、内水氾濫

（４）行政区文書について協力依頼予定

行政区文書により９月に新城地域協議会だより第５３号が、１０月にしんしろまちなかサロンチラシが配布されることを報告し、関係区長に配布協力の依頼をした。

４ 閉会